

高齢になっても働き続けるという選択肢

年金受給額が年々少なくなるといわれる昨今、お金にゆとりのある老後の生活は、夢のまた夢と思っている人も多いのではないのでしょうか。

「貯蓄の額が十分でなかったとしても、諦めることはありません。定年後も働くことを視野に入れれば、充実した老後を過ごせる可能性が広がります」そうアドバイスをくれたのは、家計再生コンサルタントの横山光昭さんです。

「これまでの高齢者の多くは、年金を老後の収入源にしていました。しかし、今の高齢者は心も体も健康な方が多いので、老後も働くという選択肢があります。働き続けるといくらかの収入が見込めるので、高齢になっても老後の貯蓄の切り崩し軽減が可能になります」(横山さん)

高齢になっても働き続けることは、決して楽なわけではありません。しかし、社会との接点を持ち続けられるので、老後の孤独を解消し、充実感を得られるというメリットもあるそうです。

「高齢者の働き方は、再雇用、再就職、起業、シルバー人材センターなどがあります」(横山さん)

(1) 定年後も同じ会社で仕事を続ける「再雇用」

慣れている仕事を続けられるのが魅力です。定年前と比べて雇用形態が変わったり、収入が下がる面もあります。

(2) 新しい就職先を探す「再就職」

新たな就職先は、就職情報誌や紹介、ハローワークなどで探すのが一般的です。高齢になると求人数が少なくなるので、非正規やパートタイマーを視野に入れておくのがいいでしょう。

(3) 自分で会社を起こす「起業」

起業に必要なのは、初期投資費用、経験、能力、人脈です。経験のない分野の仕事始めるのはリスクが高いので要注意。さらに起業してからしばらくは、仕事も収入も少ないので、小遣い稼ぎぐらいの気持ちで始めることをおすすめします。

(4) 気軽に働ける「シルバー人材センター」

シルバー人材センターに入会すると、民間企業や公共団体などから委託された簡単な作業を紹介してもらうことができます。公園の清掃や駐輪場の管理などの軽作業が一般的です。

働き続けることも考えておけば、年金が減額になったり、消費税が上がっても、焦ることはありません。充実した老後のために、今のうちから検討しておくのもいいかもしれません。

以上

※掲載内容の無断転載を禁じます

監修者

横山光昭さん

家計再生コンサルタント ファイナンシャルプランナー

株式会社マイエフピー代表取締役

お金の使い方そのものを改善する独自の家計再生プログラムで、

これまで1万人以上の赤字家計を再生。書籍、雑誌への執筆、講演も多数。

著書は50万部を超える『はじめての人のための3000円投資生活』(アスコム)や『年収200万円からの貯金生活宣言』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

を代表作とし、著作は累計259万部となる。

<http://myfp.jp/>